

# 帯広大谷短期大学 様

協定校との深い交流を目指しポリコムを導入。  
教育の質の向上、教える技術の研鑽にも貢献



Hiroshi Ishii

石井 洋 様  
帯広大谷短期大学  
生活科学科  
准教授 博士(農学)

## ■導入システム一覧

- RealPresence Group 700-720 EagleEye IV-12倍ズームカメラモデル
- RealPresence Group シリーズ用 1080p映像ライセンス
- RealPresence Group シリーズ用 内蔵MCUライセンス
- RealPresence Group シリーズ用 ルームマイクアレイ
- EagleEye IV-12倍ズームカメラ
- EagleEye デジタルエクステンダー
- RealPresence Desktop (6ライセンス分)
- RealPresence Mobile (無償アプリケーション)



他校とのアクティブ・ラーニング授業の様子。講義室では本体側+天井のカメラで教壇や 全体などの映像を捉え1080p品質で配信可能。



移動が容易なキャスター付スタンドに設置されたシステムは、各教室の電子教卓システムとも連携。リアルタイムの遠隔講義にも利用できる。

## 製品導入の きっかけ

## 協定校との情報・意見の交換、 双方向の遠隔講義を視野にポリコムの導入を検討

北海道・十勝の交通の要、帯広市からほど近い音更町にキャンパスを構える、帯広大谷短期大学。地域教養学科・生活科学科・社会福祉科の3学科を擁し、地域とのつながりを重視した教育を実践する1960年創立の歴史ある大学です。近年は教育環境の改善・向上に力を注いでおり、平成25年には学内に光ファイバー網を敷設、平成25・26年には15教室に電子教卓システムを導入するなど、先進のICTを活用した学習環境が整いつつあります。

今回のポリコム導入の目的は、これらの資産を活かして協定校と連携することで、教育の質をより高めることにありました。

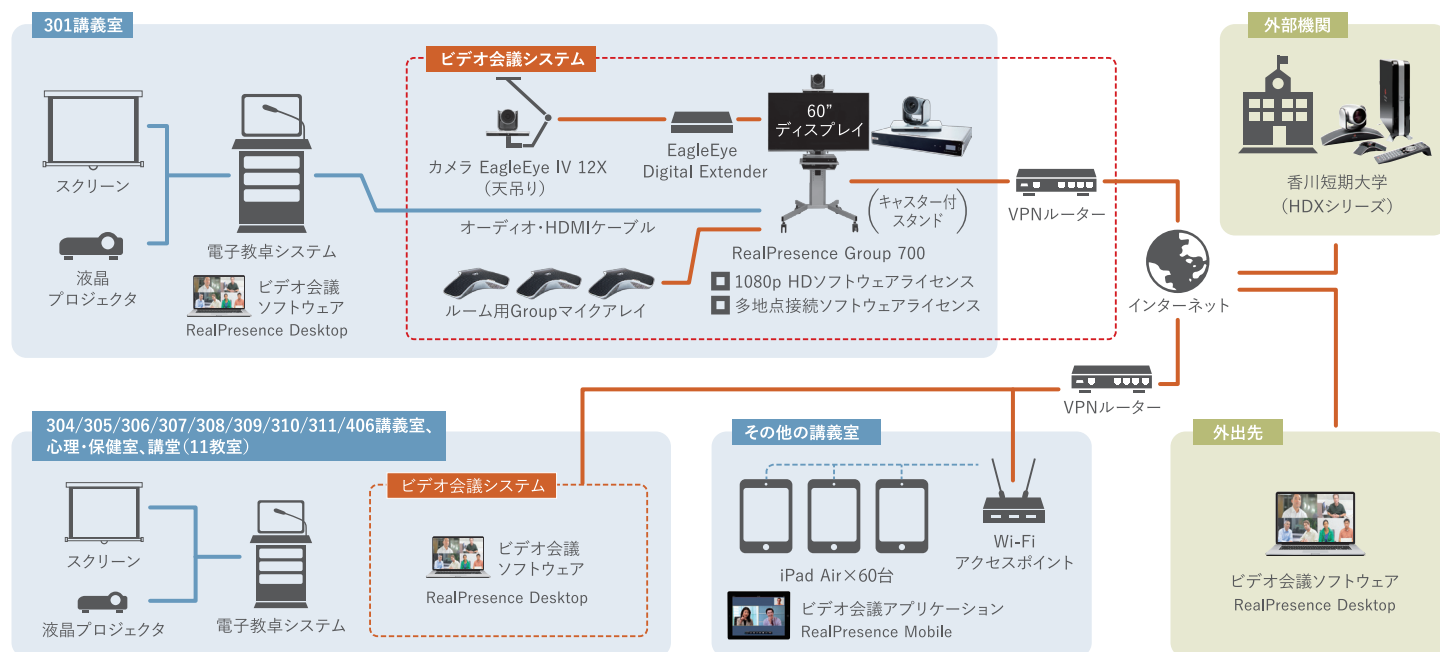
「食と栄養、子供、介護福祉など、学科構成が本校と近いこともあり、四国の香川短期大学様と

は以前からおつきあいがあり、昨年6月、より具体的に学生や教職員の交流を図ろうと大学間連携協定を結びました。今後は両校の間で頻繁に意見や情報の交換、相互の遠隔講義などを行うこととなりますから、ビデオ会議システムの必要性は高いと判断しました」と、本学事務局長の小森元章氏は導入の経緯を語ります。

システムの導入費用については、文部科学省が推進する補助金制度※を活用。学生と講師による双方向授業やリアルタイムの授業展開、他大学や関係機関との遠隔講義を実現する『アクティブラーニングのための遠隔講義システム』の内容で申請を行い、無事に採択される結果となりました。

※平成27年度私立大学等教育研究活性化設備整備事業

## [システム概要]



## 選定のポイント

## 確かな接続性と移動のしやすさ、遠隔講義に必要な拡張性を重視

「先の香川短大ではポリコムが稼働しており、接続性を考慮するとやはり同一メーカーが安心です。また、映像の鮮明さや音声の聞き取りやすさをデモで体験していましたし、日頃からICT機器の導入でお世話になっている株式会社曾我さんからの提案も決め手になり、ポリコムを選びました」と、システムの選定・構成を担当された同学准教授の石井洋氏は語ります。

メインシステムとして、“RealPresence Group 700”を、ディスプレイごと移動できるキャスター付スタンドとともに導入。主な使用場所である講義室の天井には、EagleEye IV カメラを追加で設置されています。

「機器を選ぶ際の条件では、複数の教室で使うので移動が容易なモデルであること。また、他の大学や関係機関と双方向で遠隔講義を行うには教壇側と生徒側の映像を捉える複数のカメラやディスプレイが必要になるため、これに対応した機種を選びました」

特徴的な部分としては、PC用のビデオ会議ソフトウェア“RealPresence Desktop”を12ライセンス分導入されていますが、「これによって、大勢の学生と一緒に講義を受けるのが苦手な学生も、別の教室から参加が可能になります。加えて、教職員が外に出ている場合でも、PCから職員会議に参加できる環境が整いました」と石井氏は理由を述べられました。また、学内に60台以上あるiPadにもビデオ会議アプリ“RealPresence Mobile”がインストールされ、より効果的・効率的な授業展開に向けた準備も万全です。

## 導入後の効果

## 遠隔授業や報告、研修の場面などでも良好な成果を実感

導入後まもないながら、同学では積極的にポリコムの活用を進めています。香川短期大学との遠隔授業では、互いの学生が去年1年で取り組んだゼミの内容について報告し合ったほか、教職員間でも教える技術を系統的に高めよう共同FD研修会を実施。さらに、同学から車で1時間ほど離れた豊頃町の教育委員会に対しても、学生が宿泊実習に参加した際の報告をポリコムで行い、いずれも良好な成果が得られたといえます。

「学生からも、とても自然に会話できると大変好評です。北海道では道内の移動だけでも時間がかかります。まして香川県のような遠方にたびたび足を運ぶことは難しいですから、ポリコムの恩恵は大きいです。今後は本格的に、他校や関係機関との双方向の遠隔講義に取り組んでいきたいですね」と、石井氏は意欲的な表情で語ってくださいました。

## 帯広大谷短期大学

親鸞聖人の御教えを建学の精神とする帯広大谷短期大学は、3学科からなる共学の私立短期大学。豊かな教養と専門的知識技能を兼ね備えた人材の育成を目指しており、地域社会で活躍する卒業生を多数輩出しています。



所在地: 北海道河東郡音更町希望が丘3番地3

設立: 1960年 ウェブサイト: <http://www.ojcc.ac.jp/>

販売代理店 株式会社曾我 〒080-0025 帯広市西15条南28丁目1番地8

北海道・道東エリアを代表する、OA機器とオフィス関連用品の総合販売会社。

販売・施工・メンテナンスまで一貫して担い、地域のお客様との厚い信頼関係を築いている。

導入時期: 2016年1月 / 取材時期: 2016年4月

## お問い合わせ

E-mail [dcs-info@princeton.co.jp](mailto:dcs-info@princeton.co.jp)

輸入販売代理店

株式会社プリンストン URL <http://www.princeton.co.jp/>



PolycomおよびPolycomのロゴ、また、polycom, Inc.の米国およびその他の国における商標です。本紙に掲載している会社名と製品名は米国またはその他の国における商標登録です。本紙に掲載している製品写真は出荷時のものにて一部異なる場合があります。本紙の本文内ではTMマークや®マークは明記していません。